

製品名: BAI-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07453**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	BAI3
別名	BAI3; KIAA0550; Brain-specific angiogenesis inhibitor 3
遺伝子 ID	577.0
SwissProt ID	O60242
免疫原	抗血清はヒト BAI3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

背景

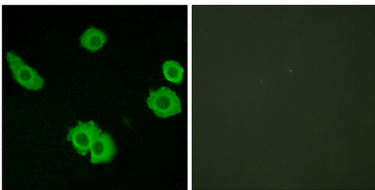
この p53 標的遺伝子は、脳特異的血管新生阻害因子（7 回膜貫通型タンパク質）をコードし、セクレチン受容体ファミリーの一員であると考えられています。脳特異的血管新生タンパク質 BAI2 および BAI3 は、BAI1 と構造が類似し、組織特異性も類似しており、血

管新生においても役割を果たしている可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: 神経膠芽腫の血管新生阻害および抑制に
関与している可能性があります。類似性: G タンパク質共役受容体 2 ファミリーに属します。LN-TM7 サブファミリーに属しま
す。類似性: CUB ドメインを 1 つ含みます。類似性: GPS ドメインを 1 つ含みます。類似性: TSP タイプ 1 ドメインを 4 つ含みま
す。組織特異性: 脳で強く発現しています。心臓でも検出されます。一部の神経膠芽腫細胞株では発現が低下しています。、

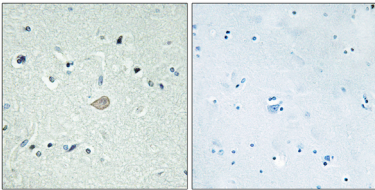
研究分野

-

画像データ



BAI3 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



BAI3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。